

2024年3月卒業生 離職調査結果について（報告※）

2024年12月19日

※「教育の効果・成果」に係る意見の報告を含みます。

1. 実施内容

職業安定法第32条の16に基づき『就職から6か月以内に解雇以外の理由で離職した者の数』を例年通り調査しました。

2. 調査期間

2024年11月1日発送～回答期日 2024年11月28日

3. 調査対象

本学卒業生 207名の就職先 全127事業者

4. 調査方法

本学卒業生の就職先に郵送配布、郵送回収

5. 回収状況

回収数：186名分、113事業者

6. 調査結果について

就職から6か月以内に解雇以外の理由で離職した者 4名

- (1) 施設 理学療法士（5月30日退職）
- (2) 病院 看護助手（6月6日退職）
- (3) 病院 理学療法士（9月25日退職）
- (4) 病院 理学療法士（9月27日退職）

7. 事業者からのご意見

33事業者より貴重なご意見を賜ることができました。それらを整理すると以下のとおりとなります。

〔肯定的な評価〕

・勤務態度：

多くの卒業生が「明るく元気に頑張っている」「真面目に業務に取り組んでいる」と高く評価されています。患者への対応が丁寧で、上司や同僚からの信頼が厚いとのご意見もありました。

- ・成長とスキル:

「日々成長している姿が頼もしい」「スキルアップが図れている」といったご意見が見られます。中には「リーダーシップを発揮している」「覚えが早く要領も良い」とのご評価をいただいた卒業生もおりました。

- ・大学教育への評価: 卒業生が大学で学んだ知識が業務の基礎となっており、エンジニアとしての立ち上がりが早い、とご評価いただいた病院・施設等もありました。

[課題と要望]

- ・個別の課題:

- コミュニケーション能力:

「患者様とのやり取りを見ていて不安になることがある」との指摘がありました。

- PCスキル:

「PCのタイピングが苦手で業務スピードが遅い」という指摘があり、在学中の指導を望むご要望をいただきました。

- 知識・姿勢:

職務姿勢や、利用者の年代・障がいに合わせた知識が不足しているとの意見もありました。

- ・大学・学生へのご要望:

- 採用について:

採用活動の早期化に対応するため、学生に事前の情報収集やインターンシップへの参加を促してほしいとのご要望がありました。また、採用では成績よりも「元気や素直さ」、あるいは「コミュニケーション能力、主体性、協調性」などを重視するとのご意見がありました。

- 社会人としての自覚:

社会人としてのマナーや接遇の具体的な指導が身についていると有難い、というご意見がありました。

- 実習:

引き続き実習生を積極的に受け入れたいというご意向や、地元出身の学生を希望するご意見がありました。

以上の貴重なご意見については、学内の教育活動の見直しに活用させていただきます。

8. 特記事項

未回答の事業者へ電話確認したところ、「個人情報のため回答を控えさせていただきます」との回答を得ました。